

150年の歴史を振り返って

木津小学校は、令和4年に創立150年を迎えました。地域の人々の努力によって開校し、地域の皆様に見守られ、たくさんの卒業生を送り出してきた木津小学校です。

150年…語りつくせないほどの歴史があることは言うまでもありませんが、それぞれの時代の流れのなかで、本校にはどのような出来事があったのでしょうか。

歴史をひもとくにあたり、その系口となるのは、「遺跡や遺構」（発掘により発見したもの）と「文献」（書物や記録等）です。本校には、開校当時から現在に至るまで、歴代の校長が記録し続けてきた『学校沿革史』全8巻が保管されています。

そこからは、それぞれの時代に木津小学校で学んだ子どもたちの、また、地域の方々の息吹が伝わってきます。



学校沿革史1・2巻（明治時代）

脈々と受け継がれる木津小学校の歴史。今、学び舎としている子どもたちも、その上に新しい歴史を刻んでいくことでしょう。

学校は、いつの時代も独自で存在してきたのではありません。地域に根差し、地域に支えられ、守られて存在してきたのです。これからも、未来を築く子どもたちが確実に成長できる場であるために、地域の方々の力をお借りしながら子どもたちの教育にまい進してまいります。

地域の皆様から、いつまでも愛される木津小学校であることを願って・・・。

